

普段を忘れて くつろげる空間を

創作居酒屋 くつろぎ亭すぎ



代表 杉本貴之氏
柏崎市東長浜町3-24 2F
Tel. 0257-38-9062

早かった桜も散り始めた四月の初めに、東長浜町にあるくつろぎ亭すぎさんに伺い、代表の杉本貴之さんに話をお聞きしました。

杉本さんは、一九八八年生まれの三十三歳。福島県大熊町のご出身で、福島県内の高校を卒業後、福島県内の服飾の専門学校に進学、二十歳まで大熊町で過ごされました。

専門学校卒業後、東京の洋服屋に就職されました。その後、当時よく行っていたという東京の居酒屋に転職。ご両親が柏崎に永住されるのをきっかけに、七年前の二十五歳の時に柏崎に来られました。

柏崎に来てからは、スナック&バー絆さんで四年間、旬亭一さんで二年間働き、二〇一九年に現在の場所に、くつろぎ亭すぎをオープンし

ました。

店名の由来をお聞きしたら、「普段を忘れてくつろげる空間にした」という思いから、くつろぎ亭すぎにしたそうです。

営業時間は、コロナウイルス拡大までは十二時から二十二時まで通しで営業していましたが、現在はランチと夜の営業に分けて、間に休憩時間を設けています。

お店には去年オリピックを皆で観戦できるようにと設置した大型テレビがあり、テレビの前の席はソファでゆったりくつろげる空間になっていて、「友達の家に来た感覚で利用してほしい」と思いつたそうです。

ご家族はご両親と三人。お姉さん二人は結婚されて柏崎にお住まいです。ご趣味はテレビ鑑賞で、主にアニメや映画を観ているそうで、ランチ営業の終了後から夜の営業までの間に、店の大型テレビで映画を一本観ることもあるそうです。また、今年には柏崎青年会議所に入会し、地域活動にも貢献されています。

おすすめのメニューは安田瓦で焼く瓦焼きで、「肉を網や鉄板で焼くより焼き加減が良くふっくら焼けま

す。今後推していきたいメニューです。」

県内では、作ってから出す店はあるようですが、お客さんが焼くのはこちらだけだそうです。

また「居酒屋だけどカフェみたい」にコーヒーだけでも大丈夫です。日によつてはデザートも用意できます」とも言っておられました。

去年の新型コロナウイルスの影響で、テイクアウトのメニューもいち早く三月から始めたそうで、オムライス六十七個の注文を受けた時は、朝五時半から一人で作ったそうです。

今後の展開をお聞きすると、「こういう時だからこそ、毎日来てくれるようなお店にしたい」と。店内にはマンガ本もたくさんあり、今後は本棚を作ってマンガ本を増やして「マンガ居酒屋」にしていきたいそうです。

(十人衆 ①・②取材)

